



Koriyama West Weekly Report

第 22 回例会 | No. 2841 | 2026 年 2 月 4 日(水)

- 会長/鈴木 淳弥 ●幹事/高橋 晋也 ●クラブ広報委員長/森尾 和衛
- 会報・雑誌小委員長/濱尾 博文 ●会報・雑誌小委員会副委員長/石橋 理
- 事務局/〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階 ☎024-923-0847
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/記憶の森 郡山市山崎305-10

ゲスト卓話～ (株) 八幡屋 代表取締役社長 吉野徹彦氏 記憶の森 12:30～

開会点鐘 / 国家斉唱 / ロータリーソング「奉仕の理想」
四つのテスト唱和

<鈴木淳弥会長挨拶>

年が明け、1月はあっという間に過ぎてしまいました。任期もあと5ヶ月となりますが、最後まで楽しく活動していきたいと思えます。

本日の福島民報・福島民友の一面に掲載されていましたが、福島県からの人口流出に関する統計が発表されました。福島県は「転出超過数」において全国ワースト2位という厳しい結果が出ております。具体的には、転出者数が転入者数を7,197人上回っています。その内訳は、男性3,348人、女性3,854人と、女性の流出がより顕著です。



さらに深刻なのは、転出者の約5割が20歳から24歳であり、15歳から29歳の若年層に広げると全体の8割に達している点です。若者が県外へ流出する理由を調査したデータによると、大学進学時に77.7%が県外へ出ていき、県内に残った学生のうち64%も卒業時に県外企業へ就職しています。

県内就職を避ける理由として、「給与」や「仕事の選択肢」への不満が上位を占めています。若者が求めているのは、給与や職種以上に「ワークライフバランス」です。残業の少なさ、休日出勤のなさ、有給休暇の取得しやすさといった働き方改革を、企業側が真剣に進めなければ人材を繋ぎ止めることはできません。

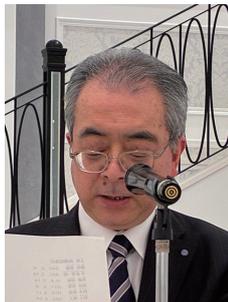
弊社におきましても、デジタル化と働き方改革を推進し、福島の活性化に貢献していきたいと考えております。

本日の卓話には、旅館100選で日本一に二度輝いた「八幡屋」の吉野社長にお越しいただいております。社長に就任された経緯など、貴重なお話を伺えることを楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

<2月結婚・誕生祝い報告>

- <結婚祝> 橋本忠雄 S42. 2. 4
今泉信一郎 S47. 2. 19
佐藤克敏 H 4. 2. 14
滝田吉宏 H11. 2. 6
鈴木厚史 H16. 2. 11
村上博人 H24. 2. 24
- <誕生祝> 石田 弘 S20. 2. 15
七海正克 S20. 2. 25
遠藤純一 S38. 2. 10
蜂谷雅俊 S54. 2. 20

宮本孝 親睦活動委員長



Happy Birth Day



<ビジター紹介>

地区米山奨学会学友委員 チンタカ कुमार ウィジェシオンヘ氏
(福島グローバルRC)

スリランカ米山学友会 10周年記念式典について

皆様、こんにちは。お食事前の貴重なお時間をいただき恐縮です。皆様にて育てられ、現在福島に定住しております。米山学友のチンタカと申します。10年前、堺パストガバナーの年度に、地区目標の一つとして「スリランカ米山学友会」を設立いたしました。当時、福島から29名のロータリアンがスリランカへ足を運び、設立総会を執り行いました。本日ご出席の七海様や石田様にもご同行いただいたことは、今も深く心に残っております。



この度、設立10周年を迎え、本年5月31日にスリランカの首都にて記念式典を開催いたします。式典当日のエクスカッションや前夜祭も予定しております。10年前に29名の皆様と行ったように、今回はさらなる多くの方々と一緒にいたいと考えております。

日本の奨学金制度で育った若者たちが、現在スリランカでどのように活躍しているか、ぜひその姿をご覧いただきたいと願っております。本日は独立記念日という佳き日に、皆様にご案内できることを嬉しく思います。よろしくお願ひ申し上げます。

<出席報告> 金田岩光 出席委員長

会員数 / 41名 出席者数 / 28名
欠席者数 / 13名 出席率 / 60.98%
前回修正率 / 68.29%

<他クラブ出席者>

なし



<ニコニコ BOX 報告> 代理 阿部委員

チンタカ クマーラ様 米山を宜しく！チンタカを宜しく！／高橋金一会員 吉野様卓話楽しみにしています。／鈴木淳弥会長 吉野社長、卓話よろしくお願ひします。／今泉信一郎会員 台湾との眼科交流の世話をしましたが、来年度からは順天堂大学にお願いしました。／高橋晋也幹事 卓話楽しみにしています。本日はよろしくお願ひします。／関根英樹会員 吉野さんのお話楽しみです。皆さん選挙に行きましょう。／鈴木茂会員 ご心配おかけしていますが、私は本当に大丈夫です！！／伊東孝弥会員 さあ、いよいよ 2/8 衆議院議員選挙投票日です。皆さん棄権しないで下さい！拓さんがんばれ！／橋本忠雄会員 本日 2月4日は 59 回目の結婚記念日。まだまだ仲良く頑張ります。／村上博人会員／嶋原健太郎会員／樽川啓会員／金田岩光会員／天間睦美会員／蜂谷雅俊会員／石田弘会員／鈴木功一会員／今泉雄二会員／柳沼克彦会員／阿部治江会員／乾敦史会員／佐藤克敏会員／森尾和衛会員／宮本孝会員／滝田吉宏会員／満井紀勝会員／遠藤雄一会員／土井將照会員

今週のニコニコ大賞 橋本忠雄会員

まだまだ仲良く頑張っていたきたいのと、本日は 2 千円の寄付をいただきました。おめでとうございます。



<ゲスト卓話>

(株) 八幡屋 代表取締役社長 吉野徹彦氏

「パイロットから旅館業へ～自分の人生をどう生きるか～」

【自己紹介】

私は 1979 年生まれの現在 46 歳です。宮城県仙台市出身で、家族は妻と 3 人の子供がおります。昨年 4 月より、家族とともに福島県石川町の八幡屋近くに居を移しました。東北大学工学部を卒業後、航空大学校を経て、2005 年に全日本空輸 (ANA) に入社しました。約 20 年間、副操縦士および機長として勤務し、総飛行時間は約 1 万時間に達しました。2024 年 12 月より、八幡屋の代表取締役社長に就任いたしました。



【パイロットを目指した理由】

父の影響でラジコン飛行機に親しんでいたことや、航空ショーを観に行ったことがきっかけです。高校時代、職業辞典でパイロットの適性として「中庸 (バランス感覚)」が重要だと知り、自分に合っていると感じました。また、高収入だけでなく、お客様の喜びを直接感じられる明るい職場に魅力を感じたことも大きな理由です。

【転機：45 歳の節目】

パイロットとして順風満帆な生活を送っていましたが、45 歳を前にして、定年まであと 20 年を予測した際、機長としての習熟度を考えると「今までの努力の延長線で過ごしてしまう」という感覚に陥りました。一度きりの人生、このまま先が見えた状態で終わっていいのかという葛藤が、新たな挑戦への原動力となりました。

パイロットとしての 20 年

- 2004 年 12 月 航空大学校 卒業
- 乗務機種 : エアバス (A320 型機)
: ボーイング (B777 型機)
- 飛行時間 : 約 10000 時間
- 2024 年 11 月末 ANA 退職

パイロットの仕事とは？

- 飛行計画 (フライトプラン) の承認
- チームマネジメント
- 運航便の最終責任者

定年まで何も起きないことを目指す

45 歳という節目

入社から 20 年・退職まで 20 年

- 人生 100 年時代
- 定年のある仕事

このまま、こんな感じで人生が終わるんだな...

志について

こころざし

志とは？

一定の期間
人生をかけて
コミットできるようなこと

引用：グロービス経営大学院・田久保義彦著「志を育てる」

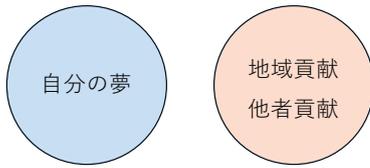
【志の再定義】

現在、経営大学院 (グロービス) で MBA を学んでいます。そこで「志」とは「人生をかけてコミットできること」と再認識しました。

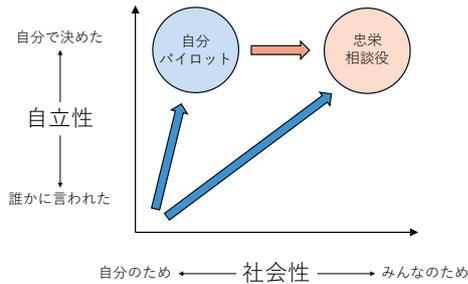
これまでのパイロットという仕事は、自分が決めた「自律性」はありましたが、どちらかといえば「自分のための夢 (私志)」でした。一方で、義父である渡辺忠衛相談役の姿を見ていると、旅館経営を通じて「地域貢献・他者貢献 (公志)」を実現しており、私もそのように「みんなのためになる志」を持ちたいと考えるようになりました。

渡邊忠栄 相談役（義父）の存在

旅館の経営



志の軸



第二の人生の方向性

地方創生

石川町の人口減少
母畑温泉の過疎化・少子化・高齢化

しかし、どうすれば？

【地方創生への想い】

私の第二の人生の志は「地方創生」です。石川町の人口減少や母畑温泉の過疎化に対し、何ができるかを考え、香川県三豊市や南相馬市小高地区を視察しました。そこで見たのは、行政に頼らず、自分たちが住みたい町を自分たちのアイデアで形にする若者や起業家の姿でした。三豊市では、古い商店街をリニューアルし、クラフトビルショップやアートギャラリー、住民が交流できるレストランなどが次々と生まれていました。南相馬市小高地区でも、震災後に戻った住民や移住者が、ハンバーガーショップやブックカフェ、乗馬施設などを自分たちの手で作り上げていました。

香川県三豊市・仁尾町とは？



高松市街地・高松空港から車で1時間ほど

日照時間が長く、塩田で栄えた街
地震も少なく気候が安定している

この辺り



地方創生の考え方

自分たちが住みたい街を
自分たちで作る

- 行政に任せっきりにしない
- 特別な人はいない
- 本気の大人が数人いればいい

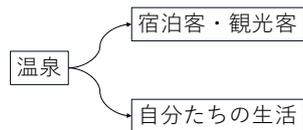
地方創生の考え方

豊かな人生とは？

- 一緒に成長できる仲間がいる
- 「実践→失敗→学び」の繰り返しで急成長！
- 小さな挑戦から始められる

やりたいことを仲間と実践する。
自己実現が人生を豊かにする。
その取り組みが街に活気を生み、地方創生につながる。

母畑温泉の地域は？



- 健康でいられる
- 心もリラックスできる
- みんなでワイワイ集まれる

【今後のビジョン】

地方創生の鍵は、行政主体ではなく、住民一人ひとりが「住みたい町を自ら作る」という意志を持つことです。母畑温泉においても、温泉を観光資源としてだけでなく、地域住民が健康でリラックスでき、ワイワイ集まれる「コミュニティの場」として再定義していきたいと考えています。小さな挑戦の積み重ねが街に活気を与え、地方創生に繋がると信じています。人生一度きり、この新たな志に向かって邁進してまいります。

【最後に一言】

人生は一度きり。
やりたいことをやってみませんか。



<ランチ>

- あたたかい茶そば
- 味ご飯
- 茶わん蒸し
- からあげ
- 焼き魚